

救命リレーの6人に感謝状

市消防本部は6月19日、味方町の消防署で救命協力者に感謝状を贈呈しました。感謝状を受けたのは▽高橋佑輔さん（並松町）▽白須縁さん（福知山市）▽山本由貴さん（舞鶴市）▽大嶋一夫さん（青野町）▽間島清史さん（天神町）▽平田千尋さん（月見町）＝写真後列左2人目から時計回り＝の6人。4月19日にJR綾部駅北側ロータリーで男性が倒れていたため、119番通報や心臓マッサージ、AEDの使用などを連携して行い傷病者の救命に貢献しました。贈呈式では、塩見消防長が一人ひとりに感謝状を手渡し「勇気を持って行動してくれたことに感謝する」と謝辞を述べました。



英語伝わったかな？

西八田小学校の全校児童85人が6月12日、校区内にある日本語学校の学生20人と交流しました。児童はグループに分かれ、身振り手振りを交えながら、英語を使って学生の好きな食べ物や色などを質問し、学生を紹介するためのカードを作成。その内容を他のグループに発表しました。

児童は「習った英語を使って会話できた」「知らなかった英語を学べてよかった」と話し、外国人との交流を楽しみました。

朗読を通じ波多野夫妻をたどるワークショップ開催



ゲンゼ創業者の波多野鶴吉・はな夫妻の物語のドラマ化を目指す「NHK朝の連続テレビ小説誘致推進協議会」が、青野町の市図書館で朗読ワークショップをスタートしました。夫妻の足跡を朗読劇にし、理解を深めることで、ドラマ化への機運を高めることが目的です。

第1回の6月30日は、市民など22人が参加。劇作家の小栗一紅さんの指導を受けながら、鶴吉が貧困にあえぐ養蚕農家の現状を知り、心を痛めるエピソードを描いた場面を朗読しました。ワークショップは、来年11月の上演に向けて、3月まで月1回開催します。

市公用車にEVを初導入

市はこのほど、業務などで使用する電気自動車（EV）1台を新たに導入しました。本年3月に策定した市エネルギー環境基本計画に基づくもので、市公用車へのEV導入は初めてです。

EVは、動力に電気を活用することから、走行時の温室効果ガス排出を抑制することが可能。市は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向け取り組んでおり、本年度はさらに、プラグインハイブリッド車1台を導入する予定です。



Uターン者が綾部の魅力語る

市は6月21日、郷土愛を育むことを目的に「中学生“みらい”会議」を開催しました。当日は、市内の中学2年生262人がオンラインで参加。日東精工の白波瀬智久さんと古民家レンタルスペースHIKARI副代表の古割大地さんが、それぞれの経験を交えながら、Uターンのきっかけなどを話しました。Uターンをした白波瀬さん＝写真上右＝は「綾部は人が優しく、豊かな自然に恵まれた魅力的な場所。一度綾部を離れても、また戻ってきてほしい」と呼び掛け、古割さん＝写真上中央＝は「旅に出ることで視野が広がり、綾部の魅力に気付くきっかけにもなる」とアドバイスしました。



第2回は2月に開催予定。生徒たちは、今回の講演内容を参考にして、ふるさと綾部について学習し、その内容を発表します。

訪中で友好を再確認

市は、中国・常熟市との友好都市締結35周年を記念し、7月3～6日に公式訪中（団長、岩本正信副市長）を派遣しました。公式訪中の派遣は、令和元年以来5年ぶりです。また、市日本中国友好協会の松本哲郎会長をはじめとする8人の市民団も同行しました。

一行は、3日に同市を表敬訪問。さらなる交流の促進をうたう友好宣言書を取り交わしたほか、記念行事に出席し交流を深めました。4～5日には、常熟市第二人民病院や展示館などを訪れ、関係者らと今後の交流促進を確認し合いました。



夏だ!

e-Bikeで大自然を満喫しよう



体力の有無にかかわらず山道や長距離も快適に走ることができる「e-Bike(イーバイク)」。車ではたどれないルートや移動中の景色、心地良い風を楽しめます。この夏はe-Bikeに乗って、上林の大自然を五感で感じてみませんか。



サイクリングマップ



君尾林道

本格的なオフロード走行を体験できます

あやべ温泉
「二王の湯」二王の栖
e-Bikeのレンタル場所

草壁公民館



鳥垣溪谷シデ山案内所

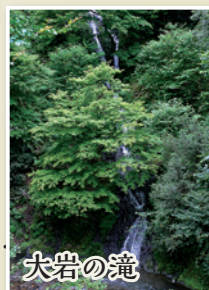
鳥垣溪谷やシデ山に関する資料などが設置されています



国宝光明寺三王門



のどかな田園風景が広がります



大岩の滝

60mほど上部から清流が流れ落ちます

水源の里・古屋

マウンテンタイプ型のe-bikeで、林道などのオフロードでもパワフルに走れます。親子ペアなら、草壁や鳥垣の田園風景を見ながらのサイクリングがおすすめです。また、川遊び体験ができるスポットもあります。ガイドが同行するので、安心して楽しめますよ!



「二王の栖」(睦寄町)のスタッフ
安平章吾さん

利用料金

	1 時間	1 日
eマウンテンバイク	1,500円	6,000円
子ども用マウンテンバイク (非電動)	500円	1,500円

オプションでガイド付きツアーあり (追加料金発生)

利用方法

前日までに、電話かメールで
二王の栖へ

<問い合わせ>

二王の栖 ☎(55)0720

メール nioh.sumika@gmail.com